



鉄の魅力、ものづくりの楽しさを体感するイベントを全国で開催

本年、全国各地で展開されている(社)日本鉄鋼連盟の近代製鉄発祥150周年記念事業の一環として、10月21日から11月18日にかけて、全国の5つの小学校において科学実験キャラバン「鉄の不思議教室」が開催された。また、11月8、9日には、本事業の連携イベントとして、名古屋製鉄所が「東海秋まつり」において、鉄の魅力をアピールする缶詰のタイムカプセルづくりなどを実施した。

子どもたちの好奇心を刺激する科学実験キャラバン「鉄の不思議教室」

(社)日本鉄鋼連盟は、鉄のさまざまな魅力や可能性について全国各地の小学生に伝える科学実験キャラバン「鉄の不思議教室」を開催した。本企画では、(株)学習研究社(学研)の協力を得て、日本鉄鋼連盟加盟各社の講師と学研の講師による、参加型の実験を中心とした授業を行った。

科学実験キャラバンは10月21日に岡山県からスタートし、鹿児島県、長野県、新潟県、そして11月18日の宮城県まで、5カ所の小学校を訪問して、子どもたちの好奇心を

刺激するさまざまな実験を行った(開催校は、学研を通じた募集の呼びかけに応募のあった小学校から選ばれた5校)。

科学実験キャラバン「鉄の不思議教室」開催校

- 10月21日 岡山県井原市立芳井小学校
- 10月24日 鹿児島県長島町立川床小学校、田尻小学校
- 11月5日 長野県箕輪町立箕輪中部小学校
- 11月14日 新潟県上越市立大和小学校
- 11月18日 宮城県仙台市立八木山南小学校



磁石になったスプーンを元に戻すにはどうする？



陸上ハンマー投げに使う鉄球はどのくらい重いか？



鉄鋼製品も展示。写真は橋梁用の線材



単三電池63個を使用し、接触させた瞬間にアーク放電で閃光とともに5,000~6,000℃の熱を発生し、カッターの刃があっという間に溶ける



鉄を燃やすと重くなる？
空気の重さを体感して、「酸化」について勉強



くぎと磁石とコードを使って超かんたんモーターづくりに挑戦

名古屋製鉄所「東海秋まつり」で身近な鉄をアピール

11月8、9日の2日間、愛知県東海市で「東海秋まつり」が行われ、会場の一つ、製鉄公園は約12万人の人でにぎわった。名古屋製鉄所では、鉄や鉄鋼業を身近に感じてもらうことを目的に、「鉄学のホール」において、同所の歴史や特殊車両を紹介する写真展と新日鉄の環境への取り組みを紹介するパネル展示を行った。また、スチール缶に将来の夢などのメッセージと玩具を入れてタイムカプセルを作る「なんでも缶詰コーナー」を設け、子どもたちや親子が思い思いのメッセージを缶詰に詰めて楽しんだ。

会場では、今年も「たたら製鉄」を実演。名古屋製鉄所

と協会の有志が作る「東海たたら会」の指導により、スタッフ系新入社員と、東海市立青少年センター主催の「青少年いきいき体験事業」の中学生から大学生までの8人が、日本古来の鉄づくりに挑戦した。



缶詰のタイムカプセルづくり